

多摩イノベーションエコシステム促進事業

**令和 7 年度ビジネスアイデア募集
説明会**

本日使用する資料

二次元コードもしくはURLからダウンロードしてください。

◆多摩イノベーションエコシステム促進事業 ビジネスアイデア募集ページ

<https://tama-innovation-ecosystem.jp/info/application/4963/>

もしくは、各ウェブブラウザにて「多摩イノベーションエコシステム」と検索ください。

「お知らせ」内、ビジネスアイデア応募開始の情報より、募集要項等をダウンロードいただけます。



「お知らせ」をクリック



The screenshot shows the TAMA INNOVATION ECOSYSTEM website. At the top, there's a navigation bar with links for Home, About Us, Leadership Project, Tama Region Companies, Events, Announcements (highlighted with an orange box), Contact, and Community. Below the navigation, there's a banner with the text "To distribute!" and a "SCROLL DOWN" button. The main content area features a news item about a new interview published on September 4, 2025. Below it is a recruitment notice for business ideas due on October 10, 2025, with a deadline of September 2, 2025. At the bottom, there's a section for Tama Region companies with a note about new entries on August 29, 2025. On the left side, there's a sidebar titled "Download" with links for application forms: Entry Form (download), Application Form (download), Consumption Record Form (download), and Application Form Attachment (download). An orange arrow points from the "Announcements" link in the navigation to the recruitment notice in the main content area.

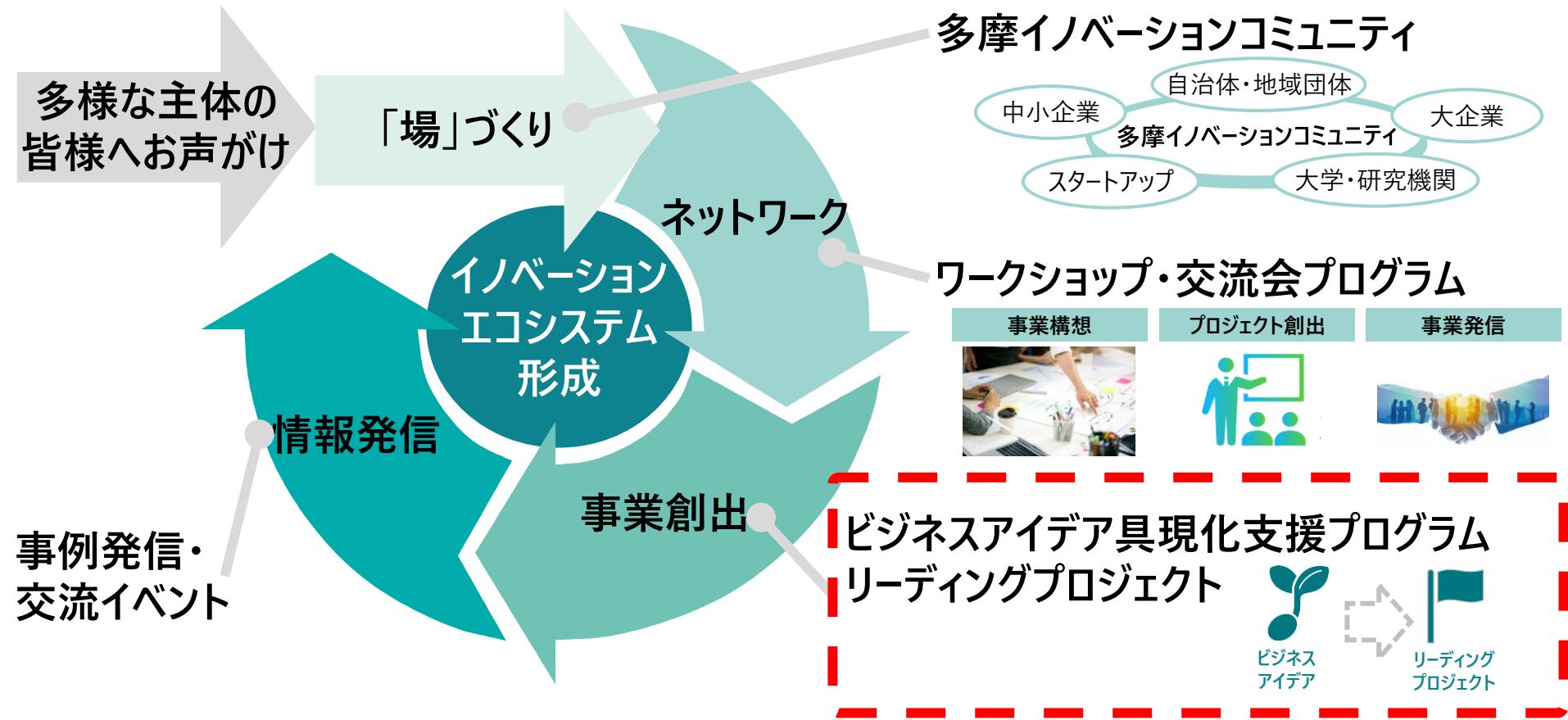
議事次第

1. ビジネスアイデア募集の説明 11:00～11:10
2. 多摩地域の特徴と課題 11:10～11:30
3. 応募様式の説明 11:30～11:40
4. 質疑応答 11:40～11:50
5. 閉会 11:50～12:00

本説明会の最後に個別の相談窓口もご紹介させていただきますので
お気軽にご活用ください。

1. ビジネスアイデア募集の説明

多摩イノベーションエコシステム促進事業とは



多摩イノベーションエコシステム促進事業とは

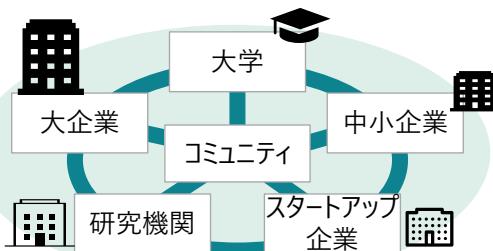
本事業の目指す方向性およびその取組の一例

多摩イノベーション
エコシステム促進事業

多摩地域内外の多様な主体が交流し連携を強める取組を展開し、多摩地域でイノベーションを起こし続ける好循環をつくることを目指して推進する事業

多摩地域においてイノベーション創出の取り組みを推進するための会員組織「多摩イノベーションコミュニティ」を運営

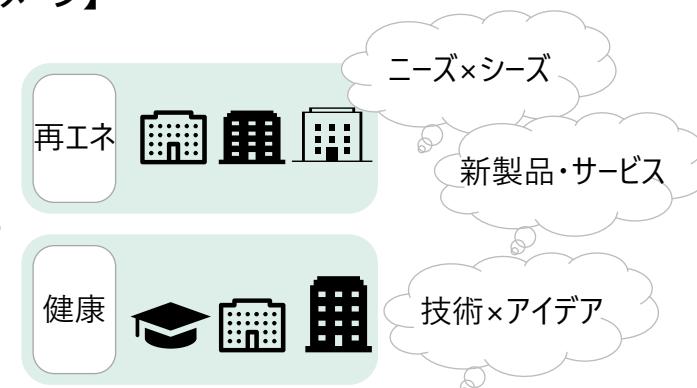
【多摩イノベーションコミュニティの活動イメージ】



コミュニティ会員が交流
(会員随時増加)



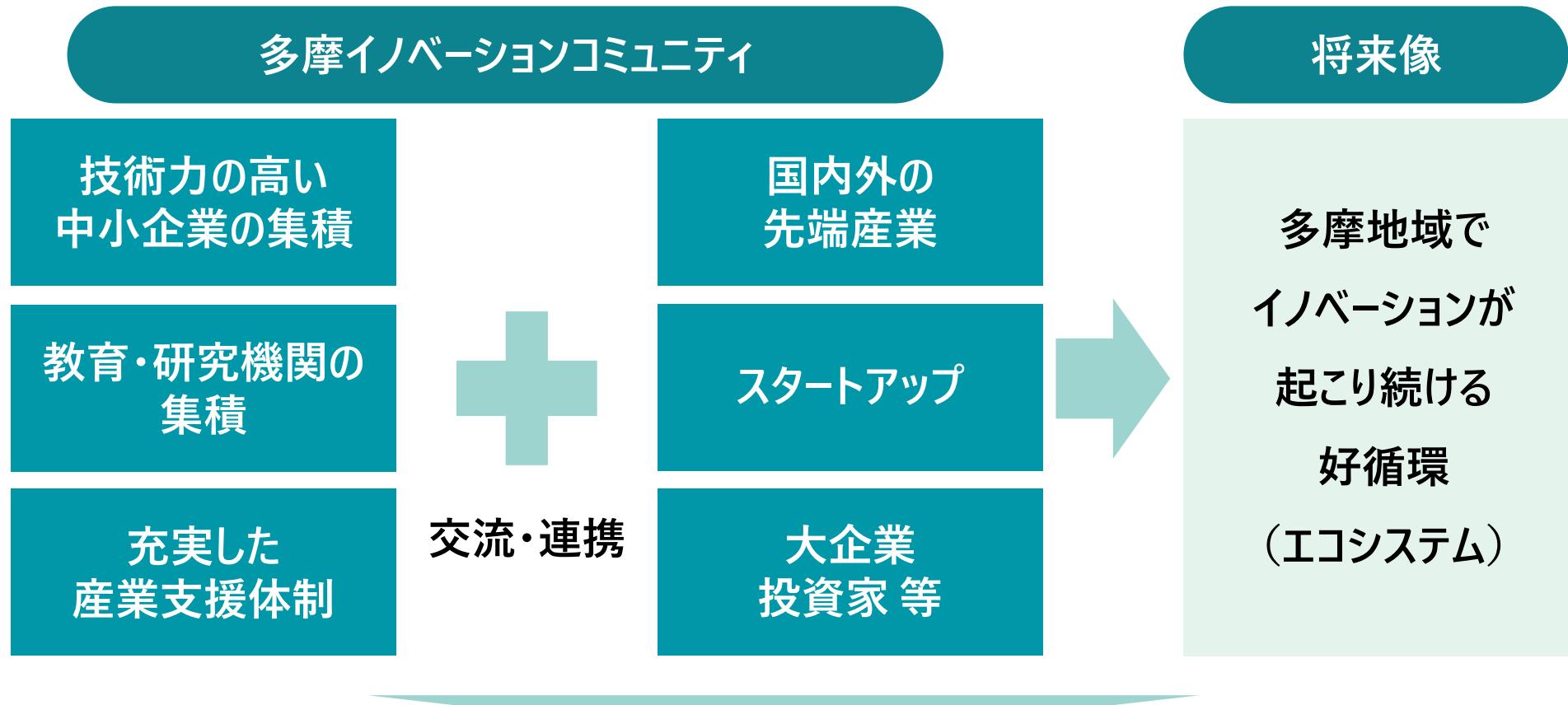
共通のテーマに関心のある
企業等をマッチング



テーマ別ワークショップ・イベントでの交流
を通して新たなアイデア・プロジェクトを組成

多摩地域発のイノベーション創出に向けて令和4年度8月より活動を推進中

多摩イノベーションコミュニティの目的



新たなビジネスアイデアの創出・
多様な主体によるプロジェクト組成等の促進

多摩イノベーションコミュニティの取り組み

事業構想ワークショップ



リバースピッチ



コミュニティ活動のアウトプットの機会として、 「多摩地域の課題解決に向けたビジネスアイデア」を募集します！

募集概要

応募資格

- ・本コミュニティの会員（入会申込中含む）であること
- ・代表者は中小企業（スタートアップ含む）であること 等
(連携事業者は中小企業に限らない)

要件

- ・本事業の定める重点テーマのいずれかに該当すること
- ・多摩地域における社会課題を捉えたビジネスアイデアであること
- ・多摩地域へのインパクトが期待でき得る、新規性・独自性のあるビジネスアイデアであること
- ・対象とする顧客やその市場に関する仮説を有しているビジネスアイデアであること
- ・次年度以降検証フェーズに入る見込みがあること

※1社単独ではなく、複数の企業等により取り組む想定のビジネスアイデアであること

<ビジネスアイデア例>

■ DX推進による医療のオンライン化 ■ AIを用いた技能人材の継承・拡大



支援内容

10件程度の優れたビジネスアイデアを選定し、ビジネスアイデアの具現化に向けて、以下の支援を行う

1. ハンズオン支援

以下の計画策定支援等行う

- ①ビジネスアイデアの事業計画策定に向けた助言
- ②ビジネスアイデアの壁打ち
- ③必要な連携先とのマッチング支援
- ④次年度以降の検証に向けた準備支援

2. 費用支援

ビジネスアイデアの具現化に要する費用について、1プロジェクト当たり最大100万円（税込）を支援する

対象費目は、以下のとおり

- ①事業費
- ②委託・外注費

3. 支援期間

令和7年11月下旬～令和8年2月まで

募集要項「1 定義」

1. 定義

本募集要項における用語の定義は、以下の通りとします。

本事業	令和7年度多摩イノベーションエコシステム促進事業									
事務局	本事業において、ビジネスアイデアの募集・選定、支援を行う者									
多摩地域	東京都のうち23区と島しょ部（伊豆諸島及び小笠原諸島）を除いた30市町村（26市3町1村）									
本コミュニティ	多摩イノベーションコミュニティ									
ビジネスアイデア	複数の企業等（中小企業、スタートアップ、大企業、大学、研究機関等）が連携して取り組むビジネスアイデア									
ビジネスアイデアチーム	同じビジネスアイデアの実現に向けて連携を想定している複数の企業等（中小企業、スタートアップ、大企業、大学、研究機関等）から構成されるグループ									
重点テーマ	<p>多摩地域の社会的な課題や企業の特徴を捉え、イノベーション創出に向けて設定した、優先的に取り組むべき9つのテーマ （「多摩地域のイノベーションエコシステム形成に向けた取組方針」より）</p> <table border="1"><tr><td>環境・エネルギー 環境に優しいまちづくりに向け、省エネ化や再生可能エネルギー等の活用が必要</td><td>健康・医療 多摩ニュータウンなどを中心に居住者の高齢化が進展</td><td>子ども・教育 人口減少が続く中、子育て世代が暮らしやすい環境づくりが必要</td></tr><tr><td>安心・安全 台風等による多摩川や奥川の溢水、土砂災害など、自然災害が激甚化</td><td>観光・レジャー 都心部からの立地や豊かな自然環境といった魅力の向上と発信が必要</td><td>物流・モビリティ ECの拡大などに伴う物流の効率化や交通弱者への対応が課題</td></tr><tr><td>コミュニティ活性化 空き家が増加し、生活環境や治安への影響が懸念、地域での景気が停滞化</td><td>ビジネスモデル改革 高い技術力を持つ中小企業が成長するためには、新たな事業展開が必要</td><td>人材確保・育成 ものづくり企業の技術者等の高齢化に伴い、後継者の確保や育成が必要</td></tr></table>	環境・エネルギー 環境に優しいまちづくりに向け、省エネ化や再生可能エネルギー等の活用が必要	健康・医療 多摩ニュータウンなどを中心に居住者の高齢化が進展	子ども・教育 人口減少が続く中、子育て世代が暮らしやすい環境づくりが必要	安心・安全 台風等による多摩川や奥川の溢水、土砂災害など、自然災害が激甚化	観光・レジャー 都心部からの立地や豊かな自然環境といった魅力の向上と発信が必要	物流・モビリティ ECの拡大などに伴う物流の効率化や交通弱者への対応が課題	コミュニティ活性化 空き家が増加し、生活環境や治安への影響が懸念、地域での景気が停滞化	ビジネスモデル改革 高い技術力を持つ中小企業が成長するためには、新たな事業展開が必要	人材確保・育成 ものづくり企業の技術者等の高齢化に伴い、後継者の確保や育成が必要
環境・エネルギー 環境に優しいまちづくりに向け、省エネ化や再生可能エネルギー等の活用が必要	健康・医療 多摩ニュータウンなどを中心に居住者の高齢化が進展	子ども・教育 人口減少が続く中、子育て世代が暮らしやすい環境づくりが必要								
安心・安全 台風等による多摩川や奥川の溢水、土砂災害など、自然災害が激甚化	観光・レジャー 都心部からの立地や豊かな自然環境といった魅力の向上と発信が必要	物流・モビリティ ECの拡大などに伴う物流の効率化や交通弱者への対応が課題								
コミュニティ活性化 空き家が増加し、生活環境や治安への影響が懸念、地域での景気が停滞化	ビジネスモデル改革 高い技術力を持つ中小企業が成長するためには、新たな事業展開が必要	人材確保・育成 ものづくり企業の技術者等の高齢化に伴い、後継者の確保や育成が必要								
応募者	ビジネスアイデアチームの構成者のうち、主たる企業として応募・運営・管理を行う事業者のことであり、中小企業（スタートアップを含む）とする。									
ワークショップ	本コミュニティにて開催しているワークショップ https://tama-innovation-ecosystem.jp/event/									

・ ビジネスアイデア

複数の企業等が連携して取り組む想定であること

・ 重点テーマ

多摩地域の特徴や課題・産業の特徴を踏まえて設定

詳細は本資料P18～「2.多摩地域の特徴と課題」で説明

募集要項「2 ビジネスアイデアの要件」

2. ビジネスアイデアの要件

募集するビジネスアイデアは、ビジネスアイデアチーム（1社単独ではなく、中小企業、スタートアップ、大企業、大学、研究機関等の複数の企業等によるチーム）による取組であることを前提として、以下の要件をすべて満たすものとします。

※応募の段階でビジネスアイデアチームの組成が完了していることは必須ではありません。

- (1) 重点テーマのいずれかに該当するビジネスアイデアであること
- (2) 多摩地域における社会課題を捉えたビジネスアイデアであること
- (3) 多摩地域内外へのインパクトが期待できる新規性・独自性のあるビジネスアイデアであること
- (4) 対象とする顧客やその市場に関する仮説を有しているビジネスアイデアであること
- (5) 次年度以降検証フェーズに入る見込みがあること

下記の「②ビジネスアイデアの検討フェーズ」（ビジネスアイデアの構想・企画や、それに伴う応用研究・開発を実施するフェーズ）に該当するものを募集の対象とする。

＜一般的な製品・サービス開発の流れ＞



・ ビジネスアイデアの要件

(2) (3)

多摩地域における社会課題を捉え、新規性・独自性のあるアイデアであること

(4)

対象とする顧客や市場に関する仮説を有していること

(5)

支援を通じて、次年度以降検証フェーズに入る見込みであること

・ ビジネスアイデアの検討フェーズ

ビジネスアイデアの検討フェーズのものを対象とする

（初期仮説について精査・整理したうえで、市場調査・ヒアリングを行いニーズの把握を行う。ビジネスアイデアのブラッシュアップや、事業化に向けた論点整理を実施するフェーズ）

募集要項「3 応募資格」

3. 応募資格

以下の要件をすべて満たすものとします。

- (1) 応募者は本コミュニティの会員（入会申込中のものを含む）であること
- (2) 応募者は、中小企業※（スタートアップを含む）とする
- (3) 忔募者及びビジネスアイデアチームは次の①～④のいずれにも該当すること

- ① 法令等や公的機関等との契約における違反や税金の滞納がないこと
- ② 公共の安全及び福祉を脅かすおそれのある法人・団体等でないこと。政治活動、宗教活動、選挙活動を事業目的とする組織体でないこと
- ③ 暴力団（東京都暴力団排除条例（平成 23 年東京都条例第 54 号。以下「暴排条例」という。）第 2 条第 2 号に規定する暴力団をいう。）に該当せず、又は法人その他の団体の代表者、役員又は使用人その他の従業者若しくは構成員に暴力団員等（暴力団並びに暴排条例第 2 条第 3 号に規定する暴力団員及び同条第 4 号に規定する暴力団関係者をいう。）に該当する者がないこと
- ④ その他、事務局が本プログラムを提供するにふさわしくないと判断する業務等を有さないこと

• コミュニティ会員

コミュニティ会員でない企業様については、応募締め切りまでに、コミュニティ入会申し込みが必要となります

• 応募者

中小企業（スタートアップを含む）が代表に立っていただく必要があります



募集要項「4 支援内容」「5 支援期間」

4. 支援内容

応募があった中から、**10件程度の優れたビジネスアイデアを選定**し、事務局からビジネスアイデアの具現化に向けて、以下の支援を行います。

(1) ハンズオン支援

ビジネスアイデアの具現化に向けて、以下の計画策定支援等を行う。

- ① ビジネスアイデアの事業計画策定に向けた助言
- ② ビジネスアイデアの壁打ち
- ③ 必要な連携先とのマッチング支援
- ④ 次年以降の検証に向けた準備支援

・ ハンズオン支援

次年度以降の事業者のアイデア実現に向けて、取り組みを加速化させるための支援を提供

(2) 費用支援

ビジネスアイデアの具現化に要する費用について、1プロジェクト当たり最大100万円（税込）を支援します。

対象費目は事業費と委託・外注費とし、ビジネスアイディアチームの人事費は含まれません。また、車、パソコン等の本取組以外でも使用できる資産については、申請の際に事業への必要性の説明を行い、協議の上、費用支援の対象とするかを判断する場合があります。

＜対象費目＞

大項目	小項目
事業費	マーケット調査費（テストマーケティング等）、データ収集・分析費 等
委託・外注費	個別アドバイザリーに対する委託・外注・謝金費用（例：法務・知財等に関する専門家からのコンサルティング・サービスや顧問弁理士に対する謝金等） プロトタイピングにかかる委託・外注費

※人件費は支援対象外

・ 費用支援

人件費は支援対象外

5. 支援期間

令和7年11月下旬から令和8年2月まで

※支援期間中に最終報告の実施を予定しています

募集要項「6 応募方法」

6. 応募方法

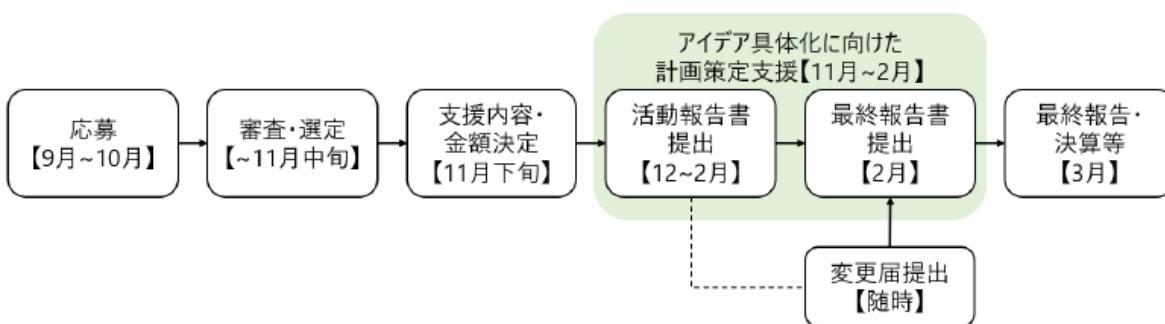
応募者は、下記応募書類を提出期限までに事務局（「10.問い合わせ先」記載のメールアドレス）まで送付してください。事務局より、受付完了メールを数営業日以内に返信しますので、ご確認ください。なお、応募者につき、応募は1件までとします。

(提出期限 令和7年10月10日(金)正午【必着】)

なお、メールに応募書類を添付できない場合は、ファイル共有ツールのダウンロード先リンクを事務局までお送りください。提出期限後の提出資料等の差し替えには応じられません。

No	資料名	記載事項
様式1	エントリーシート	・応募者名、所在地、連絡先等を記載
様式2	提案書	・「提案書フォーマット」を参考の上、プロジェクトの概要、課題解決性、ビジネスモデル仮説等を記載 ・パワーポイント形式、フォントサイズ12pt以上、A4横、8枚まで
様式3	経費算出書類	・希望する対象費目（事業費、委託・外注費）、支出目的、金額等を記載

＜応募から支援までのスケジュール等＞



応募方法

応募者が、提出期限までに応募書類を事務局へ送付

<応募書類>

様式1 エントリーシート

様式2 提案書

様式3 経費算出書類

応募者およびビジネスアイデアチームあたり応募は1件まで

連携事業者としてであれば、複数のビジネスアイデアチームでの関与も可能

募集要項「7 審査・選定方法」

7. 審査・選定方法

(1) 審査の観点

以下の観点で審査を行う。

① 事業趣旨との合目的性

多摩地域における社会課題を捉え、産業の創出や広がり、中長期的な社会インパクトを見据えた取り組みであるとともに、応募者が本事業を通じて、マーケットをより意識した伴走支援や費用支援を希望する計画を持っていること。

② アイデアの革新性

検討しているビジネスアイデアが新規性や独自性を有しているか、多摩地域内外にとって画期的かつ魅力的なイノベーション創出につながるビジネスアイデアとなっていること。また、競合と比較して優位性のあるビジネスモデルとなっていること。

③ マーケットとの適合性

検討しているビジネスアイデアが、ターゲットが抱える課題・ニーズを捉えられた内容となっているとともに、想定する市場規模に成長性が期待できること。

④ 実現可能性

ビジネスアイデアの実現に向けた妥当なチーム構成になっているか、また次年度以降の検証に向けて解決又は取り組むべき内容やその解決方針が明確になっていること。

(2) 審査方法

① 書面審査

提出された書面に基づき、書面審査を行う。

提案が「1 ビジネスアイデアの要件」「2 応募資格」に合致しているかを確認し、合致している提案に対し、書面審査を行う。審査の過程で、事務局から応募内容に関して追加の説明や資料の提出を求めることがある。

② プrezent審査

書面審査を通過した提案について、11月上旬を目途に口頭プレゼンテーションと質疑応答を実施する。

(3) 選定結果通知

11月中旬以降を目途に応募者全員に結果を通知する。

なお、選定過程は公表しない。

• 審査の観点

「①事業趣旨との合目的性」「②アイデアの革新性」「③マーケットとの適合性」「④実現可能性」の4つの観点に基づき審査を実施

• 審査方法

審査員（外部有識者含む）による書類審査、プレゼン審査を実施

• 結果通知

令和7年11月中旬以降、応募者全員に結果を通知

募集要項「8 説明会」

8. 説明会

本募集要項に関する説明会を実施する。

回数	日程	時間	開催方法	申込期限
第1回	令和7年9月11日(木)	10:30~11:30	オンライン開催	各回当日9時まで
第2回	令和7年9月16日(火)	11:00~12:00		

(1) 申込方法

以下のURLより上記申込期限までにお申し込みください。(1事業者当たり2名まで)

<https://forms.office.com/e/FTtWntftnt>

(2) 質問事項

説明会当日の席上、または説明会後メールにて受け付ける。受け付けた質問事項のうち、特定の参加者に関しない一般的な内容に対する回答は、全ての参加者に対して開示する。

説明会の内容はどちらの回も同様であり、応募にあたって説明会への出席は必須ではないが、可能な限り参加を推奨する。参加の有無は審査結果に影響しない。

• 説明会

9/11(木)、9/16(火)同様の内容で
実施予定

募集要項「9 留意事項」

9. 留意事項

- (1) 応募者は応募時に入力するビジネスアイデアや個人情報について、以下を承諾するものとする。
- ✓ 応募時に入力する個人情報は、本事業の範囲内でのみ利用すること。
 - ✓ 応募様式の提出をもって、入力した個人情報が上記の利用目的の範囲内で、審査員（外部有識者含む）に提供されることに同意したものとみなされること。
 - ✓ ビジネスアイデアの内容等について、ノウハウや営業上の秘密事項、特許事項等については、法的保護を行うなど応募者の責任で対応することとし、本コミュニティでの法的保護は行わない。
- (2) ビジネスアイデア選定後について
- ✓ 計画策定の際に発生した損害（計画策定に必要な事前トライアル等により発生した損害など。第三者に及ぼした損害を含む。）については、応募者及びビジネスアイデアチームがその費用を負担すること。
 - ✓ ビジネスアイデアの具現化に向けた計画策定支援において発生した知的財産権等は、応募者及びビジネスアイデアチームに帰属する。
 - ✓ 選定された応募者及びビジネスアイデアチームは、事務局が行う本事業のイベント・WEBサイト等での情報発信や各種調査等に協力すること。
- (3) 協力事項
- ✓ 事務局との定期的なミーティング（週1回程度）を実施し、進捗状況や課題等についての共有・協議の場を設け、支援を受けること。
 - ✓ 具現化にあたっては、事務局の支援を受けながら、応募者が主体的に取り組むこと。

• アイデアの内容について
本コミュニティでは法的保護等は行わない

• 選定後に必要なこと
事務局が行う本事業のイベント・WEBサイト等での情報発信や各種調査等への協力

• 協力事項
定期的なミーティングの実施、進捗報告等を行うとともに、応募者が主体的に取り組むこと

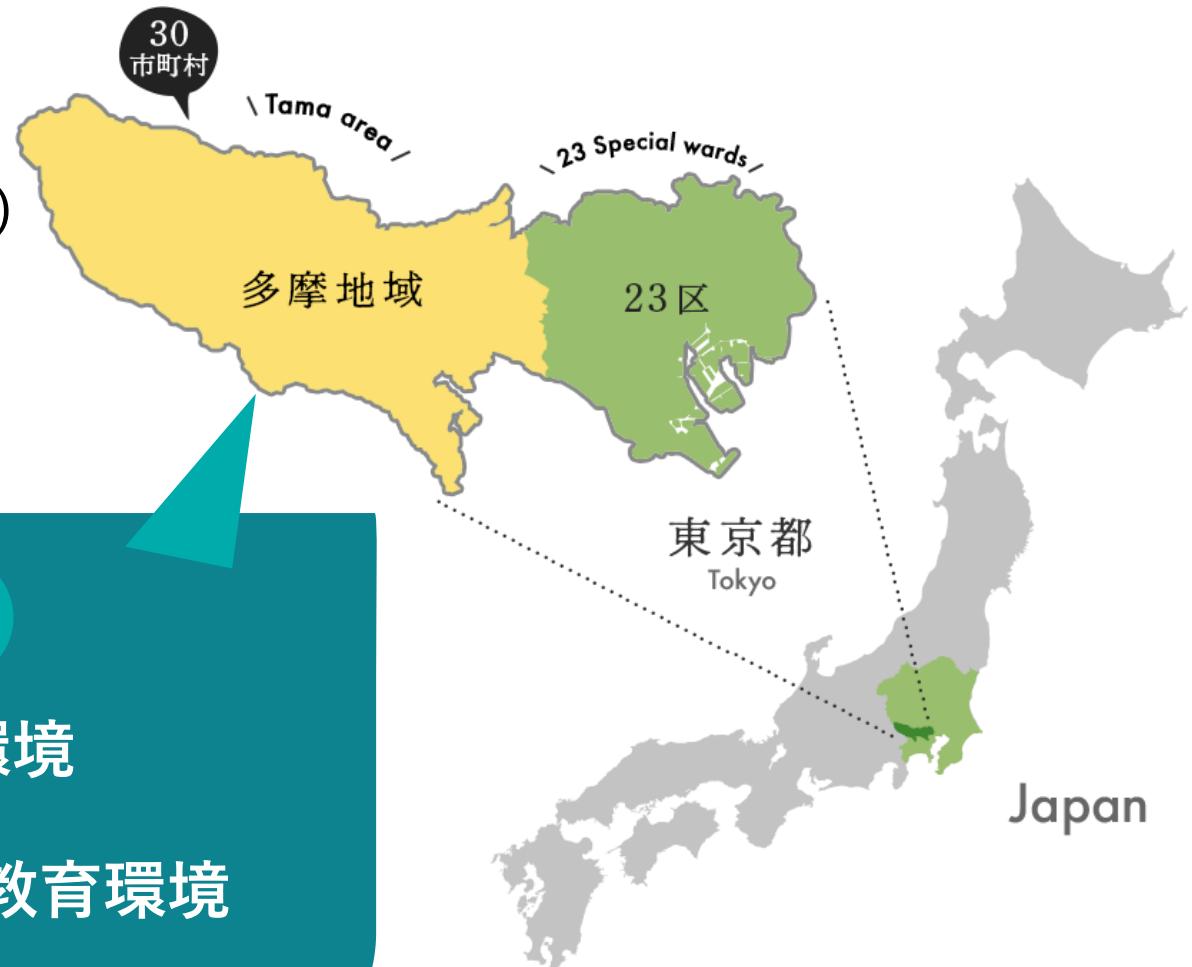
2. 多摩地域の特徴と課題

多摩地域とは

- 人口：
約430万人（約3割）
- 面積：
東京都のほぼ半分

地域の特徴

- 緑あふれる自然環境
- 充実した子育て・教育環境
- 都市の利便性

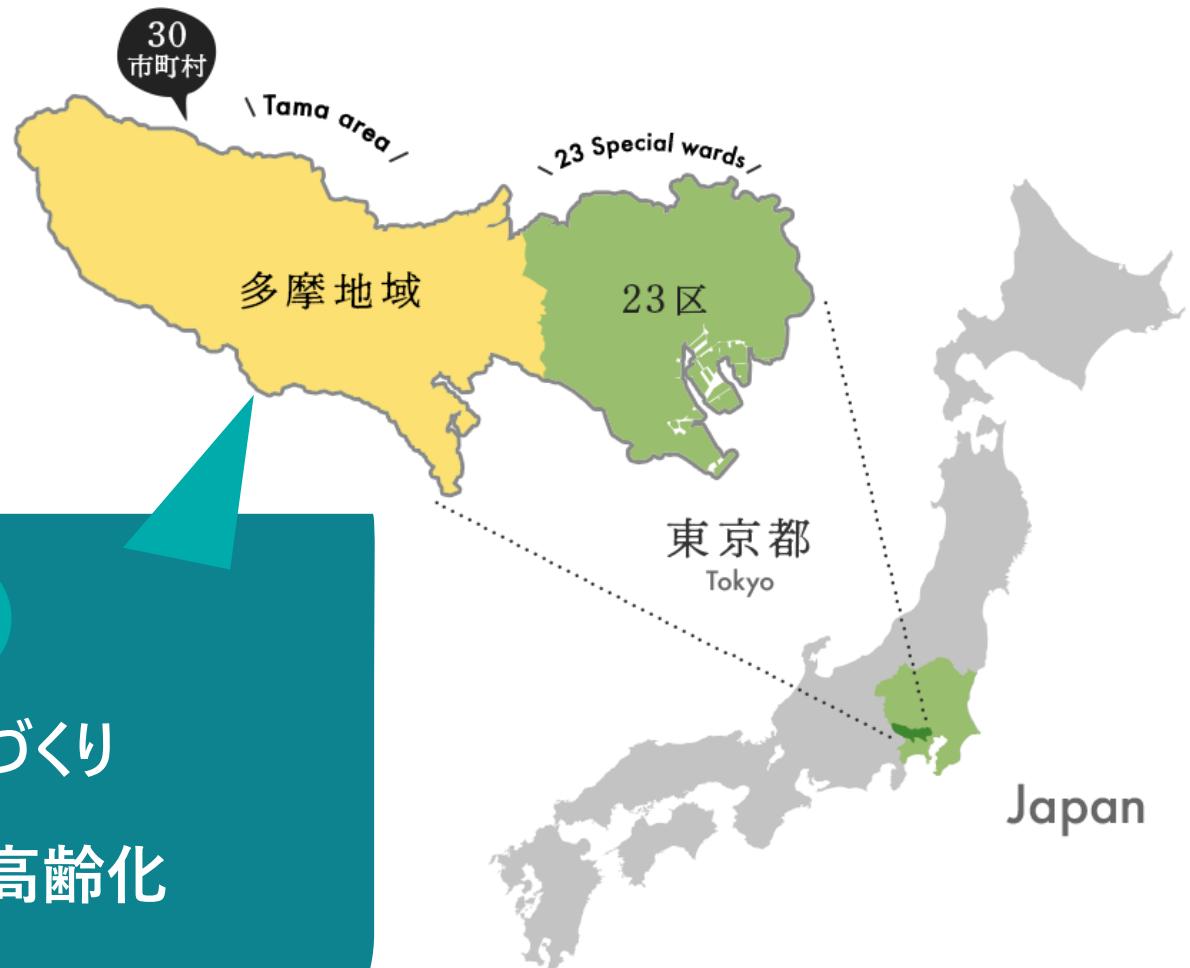


出所：東京都「くらしの統計2022」など（<https://www.seisakukikaku.metro.tokyo.lg.jp/basic-plan/versionup2022/index.html#page=120>）

多摩地域とは

地域の課題

- 環境に優しいまちづくり
- ニュータウンなどの高齢化
- 過疎地域の交通

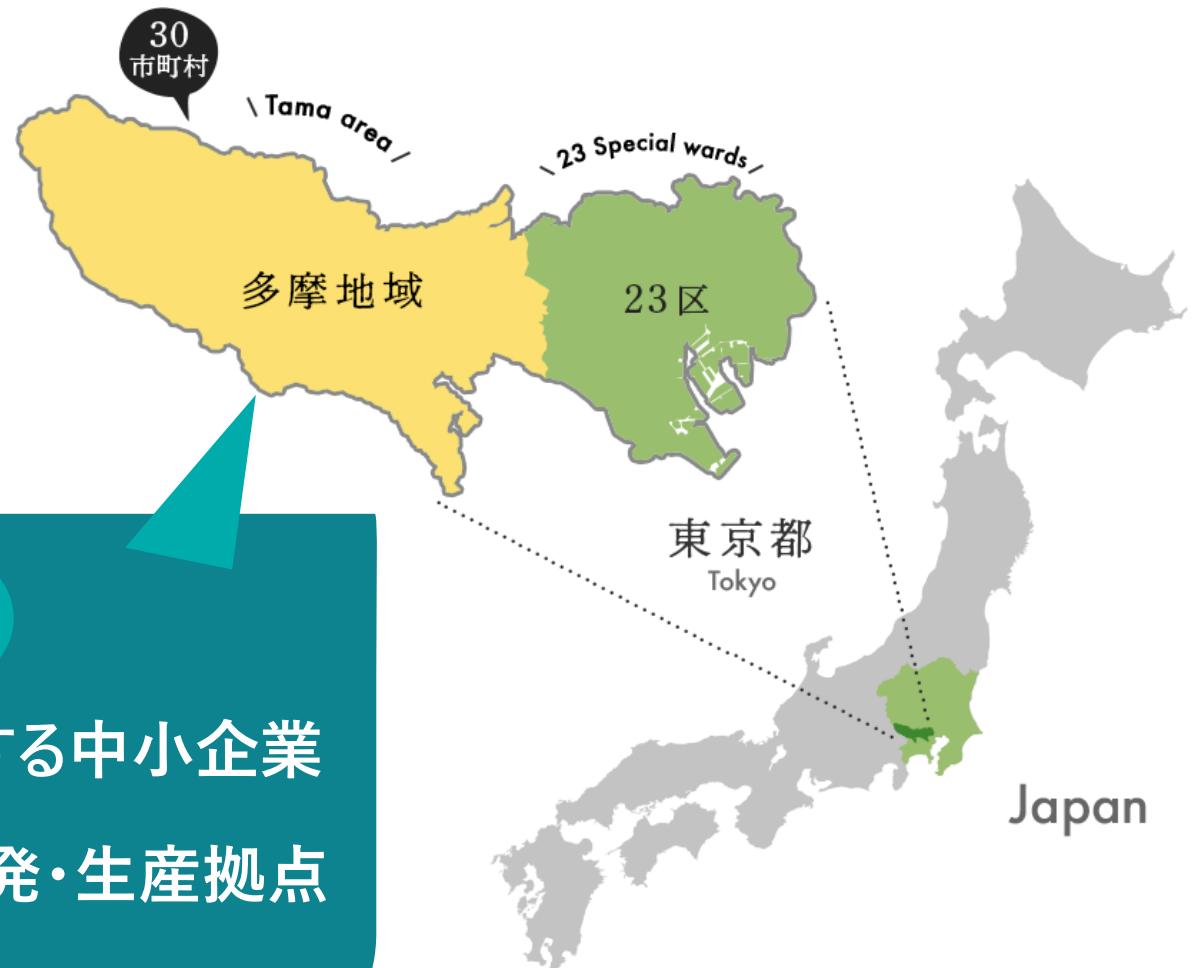


出所：東京都「くらしの統計2022」など（<https://www.seisakukikaku.metro.tokyo.lg.jp/basic-plan/versionup2022/index.html#page=120>）

多摩地域とは

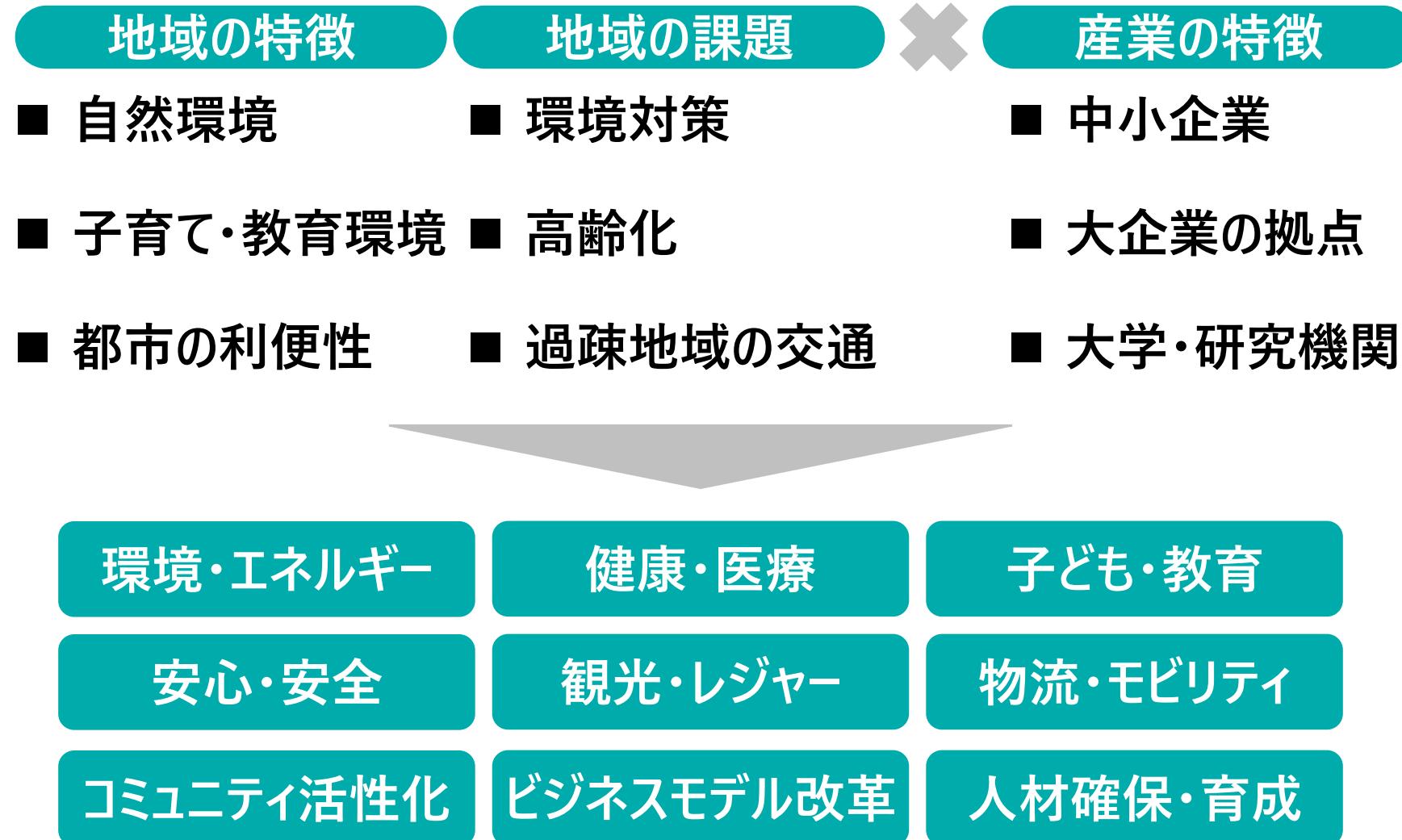
産業の特徴

- 高い技術力を有する中小企業
- 大企業の研究開発・生産拠点
- 大学・研究機関



出所：東京都「くらしの統計2022」など（<https://www.seisakukikaku.metro.tokyo.lg.jp/basic-plan/versionup2022/index.html#page=120>）

重点テーマ



多摩地域の特徴と課題

「健康・医療（例）」

多摩地域における健康・医療の主な課題

課題

- 多摩が直面している主な課題として、「医療体制のひっ迫」と「介護資源の不足」の2点があります

		予防	医療	生活支援
多摩としての 課題	予防医療制度の不足	医療体制のひっ迫	高齢化の加速 社会保障費の財政圧迫	
サービス 提供側		医療体制の薄弱	介護資源不足・重労働	
高齢層 中年層 若齢層	生活習慣病の増加、 多疾患・複雑化	患者情報 の 複雑化	不健康寿命の延伸	
	健康食品による 健康被害の拡大	医療 ニーズの 多様化	障害者福祉の 利用者増大	

多摩地域は区部と比較し高齢化率が高く、医療体制が劣弱となっています

医療体制

- 多摩地域は区部と比較し高齢化率が高い一方、[人口あたりの診療所数や医師数が少なく](#)、医療体制が劣弱となっています。西多摩・南多摩地域については[後期高齢者あたりの介護施設数が特に少なく](#)、区部との医療格差が生じている状況です

	高齢化率 ※人口10万人あたり	一般診療所数 ※人口10万人あたり	医師数 ※人口10万人あたり	介護施設数 ※75歳以上1千人あたり
【東京都全体】	22.70%	91.87	370.62	9.71
【西多摩】 青梅市・福生市・羽村市・あきる野市・瑞穂町・日の出町・檜原村・奥多摩町	30.80%	49.86	184.10	8.98
【南多摩】 八王子市・町田市・日野市・多摩市・稻城市	26.80%	63.06	224.12	8.49
【北多摩西部】 立川市・昭島市・国分寺市・国立市・東大和市・武蔵村山市	24.90%	72.42	253.78	9.52
【北多摩北部】 小平市・東村山市・清瀬市・東久留米市・西東京市	25.80%	60.58	227.24	9.48
【北多摩南部】 武蔵野市・三鷹市・府中市・調布市・小金井市・狛江市	22.10%	82.22	354.88	9.38

奥多摩を中心に、訪問型介護や居宅介護の支援事業所が少ない状況です

介護資源

- 多摩地域は区部と比較し通所型・入所型の介護施設数は同水準であるものの、訪問型や居宅型の介護支援事業所が少ない状況です。奥多摩地域の事業所不足が特に顕著で、在宅医療・介護支援事業所の充足が大きな課題となっています

	訪問型介護施設数 ※75歳以上1千人あたり	通所型介護施設数 (同左)	入所型介護施設数 (同左)	居宅介護支援事業所数 (同左)
【東京都全体】	3.08	2.25	1.10	1.73
【西多摩】 青梅市・福生市・羽村市・あきる野市・瑞穂町・日の出町・檜原村・奥多摩町	2.06	1.99	1.81	1.31
【南多摩】 八王子市・町田市・日野市・多摩市・稻城市	2.45	2.24	1.06	1.39
【北多摩西部】 立川市・昭島市・国分寺市・国立市・東大和市・武蔵村山市	2.88	2.39	1.19	1.44
【北多摩北部】 小平市・東村山市・清瀬市・東久留米市・西東京市	2.59	2.57	1.18	1.64
【北多摩南部】 武蔵野市・三鷹市・府中市・調布市・小金井市・狛江市	2.98	2.08	0.96	1.84

多摩地域の特徴と課題 「環境・エネルギー（例）」

多摩地域における環境・エネルギーの優位点と課題

- 多摩地域の環境・エネルギーに関する優位点や課題として、以下の点があります

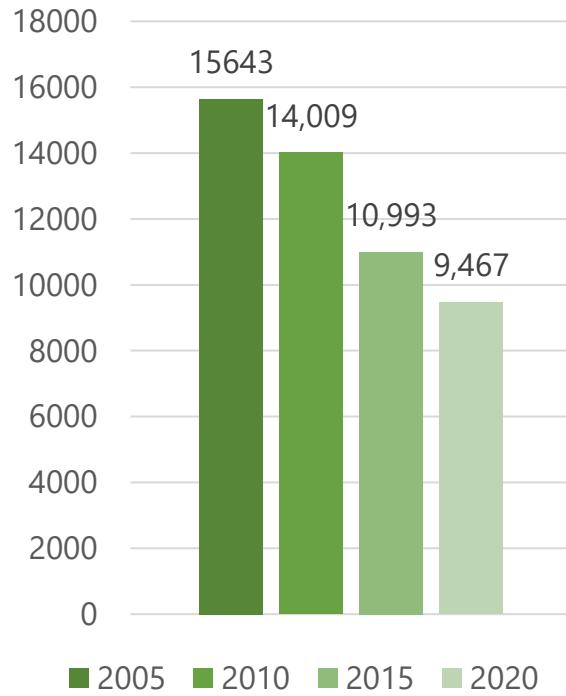
		優位点	課題
GHG排出削減寄与		供給元の多様化	転換・省力化
高	太陽光 風力	燃料転換 (水素・電気・アンモニア等)	再生・リサイクル 生態系・樹林の再生
		省エネ (自動車・機器等)	
メタン削減 (石炭・石油等)	炭素貯蓄 (農業等)	廃棄物再資源化	
地熱 水力	材料転換 (建築資材等)	バイオマス由来発電	
低	原子力	行動変容 (節電等)	食品ロス削減

多摩地域の生産緑地面積は10年間で15%減少しています

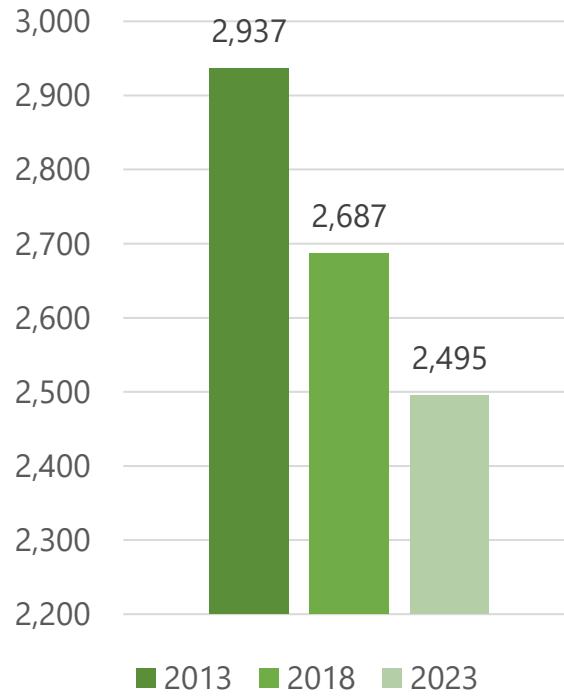
生態系・樹林の再生

- 多摩地域では農業従事者の減少などを背景に、生産緑地面積が減少しています。緑地の指標であるみどり率も減少傾向にあります。東京都では2022年以降、特定生産緑地の指定や公園整備、生産緑地の保全により緑の創出を推進しています

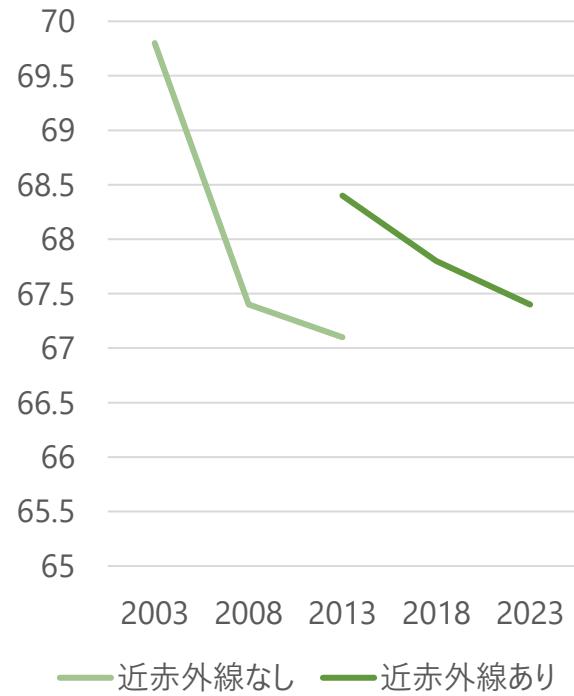
多摩地域の農業従事者の推移



多摩地域の生産緑地面積の推移



多摩地域のみどり率※の推移



※みどり率：緑が地表を覆う部分に公園区域・水面を加えた面積が、地域全体に占める割合。2013年より近赤外線を使用した判読しやすい測定方法を実施

出典：東京都環境局「令和5（2023）年「みどり率」の調査結果」

多摩地域はごみ削減の対策が進んでおり、ごみ削減の「優等生」と評されています

廃棄物再資源化

■ 埋め立てる海がなく、最終処分場を増やすことが難しい多摩地域では、自治体が長年積極的な対策を進めています。全国的にもごみ削減の「優等生」とされています。2023年度のリサイクル率は36.4%となり、全国平均19.6%を大きく上回っています

#東京ニュース #SDGs #気候変動

多摩地域、ごみ削減の「優等生」 10年で1割減 リサイクル率も全国平均上回る 自治体の長年の対策奏功

2024年9月24日 07時16分

… 📁 ✖️ 🔍 🔍 🔍



出典：東京新聞 - ニッ塚処分場 日の出町（東京たま広域資源循環組合）

多摩地域のごみ焼却灰をセメントへ

ごみ削減の
優等生



東京たまエコセメント化施設
(日の出町)

- 東京たまエコセメント化施設では、人口約410万人にのぼる多摩地域25市1町のごみ焼却灰をリサイクルし、建設工事などで利用できるセメントを作っている。同施設の稼働により不燃ごみを含め埋め立てゼロを18年度から実現している
- 多摩地域の30市町村のごみ総量は減少傾向が続いているが、23年度は22年度比3.2%減で、10年前比で10%減となっている。住民1人が1日当たりに出すごみ量についても全国平均と比べて2割以上少ない状況

金属産物・澱物の再利用

金銀の回収
再利用



- 金属澱物とは、廃棄物から銅、亜鉛、鉛を含む金属産物を回収した後に生じる絞りかすのこと。磁力選別機で鉄を、選別機でアルミニウム類を、2酸・アルカリ浸出処理により金属産物を回収している
- これまで金属澱物は、エコセメントの原料として全量を再使用してたが、金銀が含まれていることが確認され、有効活用できると判断できたことから、製錬会社に持ち込み有効に活用する取り組みが進められている

多摩地域の特徴と課題 「物流・モビリティ（例）」

モビリティ分野の主要課題のうち、多摩地域において特に顕著なもの

移動難民の対策

「移動難民」問題の要因

■ 地域的要因（インフラ・交通サービス）

- ・地方や過疎地域での公共交通の縮小
- ・交通インフラの未整備
- ・都市部でのアクセス格差

■ 個人的要因（属性や能力による制約）

- ・高齢者、障がい者、若年層の移動制約
- ・経済的な制約
- ・デジタル格差

■ 制度的要因（政策や仕組みの不備）

- ・公共交通の運行維持に対する支援不足
- ・移動サービスの規制と多様性の不足
- ・地域間の政策連携の欠如

人材不足の解消

「人材不足」問題の要因

■ 技術的要因（専門人材の不足）

技術革新が急速に進む中、それらに対応できるソフトウェアエンジニアやデータサイエンティストなどの高度な専門技術者が不足。

■ 労働環境的要因（労働条件の厳しさ）

勤務環境や待遇が原因でトラックドライバーやバス運転手などの職種で離職率が高く、新規参入者が少ない。

■ 社会構造的要因（少子高齢化）

特に地方では若年層の流出が顕著で交通や物流を支える人材が不足しており、地域のモビリティサービスが維持困難となっている。

環境負荷の低減

「環境負荷」問題の要因

■ 技術的要因（排出ガスの増加）

EVなど電動化技術の普及率はまだ低く、依然として環境負荷が大きい。

■ 経済的要因（再エネ利用の遅れ）

電力供給源が化石燃料に依存している場合、EVの普及が環境負荷軽減に直結しない状況がある。

■ 社会構造的要因（自家用車依存）

地方では公共交通の選択肢が限られることから、自家用車の使用率が高く、CO₂排出量の増加につながり、環境への負荷を強めている。

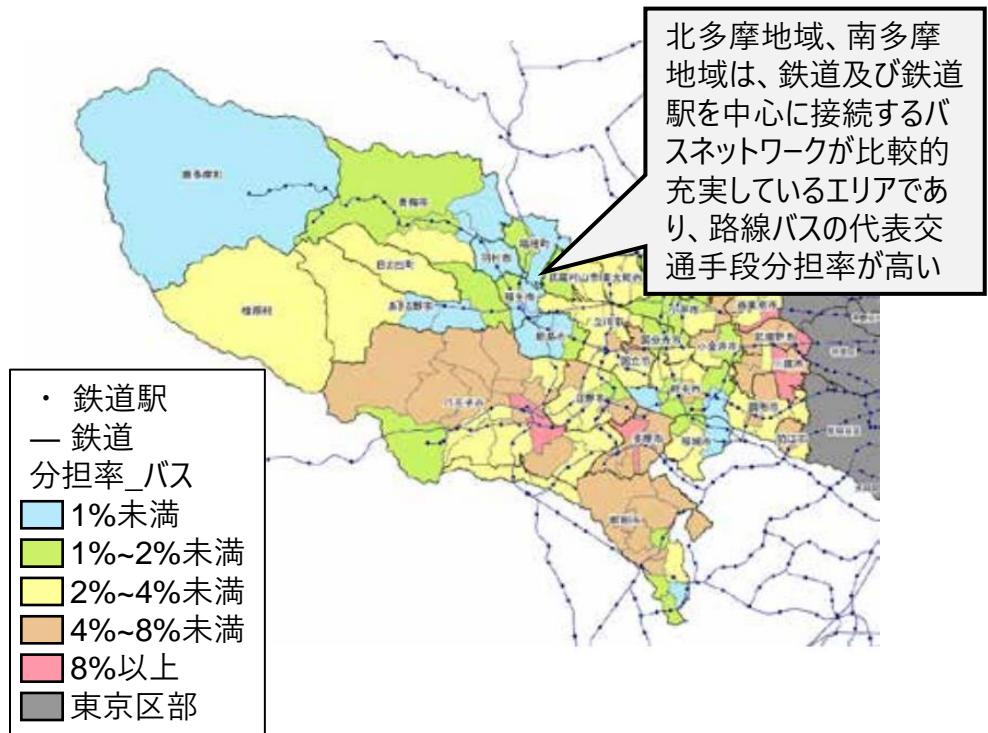
多摩地域の交通における地域間格差の現状と課題

移動難民の対策

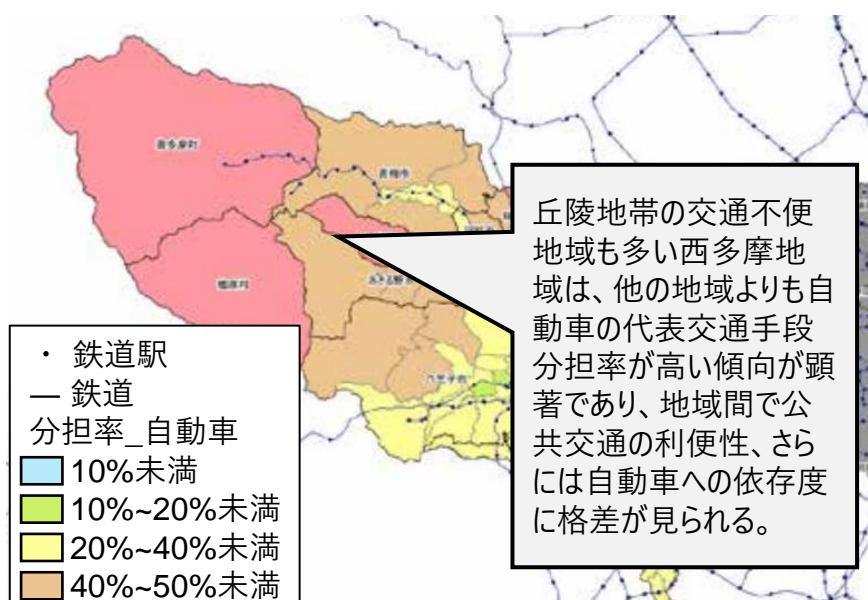
環境負荷の低減

- 現状：多摩地域では、地域間で公共交通の利便性や、自動車への依存度に格差がみられる。
- 課題：公共交通ネットワークが密ではない地域において、自動車を運転できない人が運転をしなくとも気軽に、安心して移動目的を満たすことができる、適切な移動環境・サービスの確保が求められている。また、自動車依存の解消を通じた環境負荷の低減も必要となっている

代表交通手段分担率（バス）



代表交通手段分担率（自動車）



多摩地域における鉄道路線と南北移動に関する課題

移動難民の対策

- 現状：多摩地域では、複数のエリアで南北移動が不便な場所がある。バスや車に移動手段が限られ、公共交通機関で移動する場合に実際の地理的距離以上に時間がかかる場合も多い。
- 課題：通勤、通学、または域内での観光・レジャー移動に便利な、中距離の移動に適した新しいモビリティの導入や南北をつなぐ新たなモビリティサービスの検討が必要である。

<南北移動が不便な例>

- ① 小平 ⇄ 府中
- ② ひばりが丘 ⇄ 調布
- ③ 多摩センター ⇄ 町田



画像：アソビュー！公式HP「多摩地域のご案内」

3. 応募書類の説明

応募様式 「様式1 エントリーシート」

※黄色箇所にご記入ください

様式1

多摩イノベーションコミュニティ ビジネスアイデア募集
- エントリーシート -

令和 年 月 日
(提出期限：令和7年10月10日(金)12時)

「多摩イノベーションエコシステム促進事業」事務局
デロイト トーマツ リスクアドバイザリー合同会社 行

事業者名 ○○
氏名 ○○

事業者名	○○		
所在地	○○○○		
ホームページ	○○○○		
部署	○○部	電話	○○-○○○○-○○○○
担当者氏名	○○	メールアドレス	1 ○○@xxxxx シ

当社は、応募者として、以下の応募資格の要件をすべて満たしていることを確認しました。

(1) 当社及びビジネスアイデアチームは、本コミュニティの会員（入会申込中のものを含む）であること

(2) 当社は中小企業*（スタートアップを含む）であること *中小企業の定義は募集要項参照

(3) 当社及びビジネスアイデアチームは次の①～③のいずれにも該当すること

①法令等や公的機関等との契約における違反や税金の滞納がないこと

②公共の安全及び福祉を背かすおそれのある法人・団体等でないこと。政治活動、宗教活動、選挙活動を事業目的とする組織体でないこと

③暴力団（東京都暴力団排除条例（平成23年東京都条例第54号。以下「暴排条例」という。）第2条第2号に規定する暴力団をいう。）に該当せず、又は法人その他の団体の代表者、役員又は使用人その他の従業者若しくは構成員に暴力団員等（暴力団並びに暴排条例第2条第3号に規定する暴力団員及び同条第4号に規定する暴力団関係者をいう。）に該当する者がないこと

• 応募者情報
黄色箇所を記入

• 応募資格要件
すべて満たしていることを確認（満たしていることを確認した項目について、☑を入れる）

応募様式 「様式3 経費算出書類」

・ 経費算出

今年度の活動の中で使用する想定の事業費を記載
ビジネスアイデアの具体化に資する支出となっているか
確認するため、支出目的も記載する

※黄色箇所にご記入ください

様式3

事業者名 : [REDACTED]

(提出期限 : 10/10(金)12時)

▼記載事項
ビジネスアイデアの具体化に要する総事業費のうち、費用支援（上限100万（税込））を希望する費目についてご記載ください

大項目	No	小項目※	詳細	支出目的	単価	数量	単位	計（税抜）	消費税（10%） (10%以外の場合は手入力)	計（税込）
1					円			= 0 円	0 円	0 円
2					円			= 0 円	0 円	0 円
3					円			= 0 円	0 円	0 円
4					円			= 0 円	0 円	0 円
5					円			= 0 円	0 円	0 円
6					円			= 0 円	0 円	0 円
7					円			= 0 円	0 円	0 円
8					円			= 0 円	0 円	0 円
9					円			= 0 円	0 円	0 円
10					円			= 0 円	0 円	0 円
								合計	0 円	0 円

※小項目の記載内容は募集要項を参考とするが、項目はこれに限らない

大項目	小項目
事業費	マーケット調査費（テスマーケティング等）、データ収集・分析費 等
委託・外注費	個別アドバイザリーに対する委託・外注・謝金費用（例：法務・知財等に関する専門家からのコンサルティング・サービスや顧問弁理士に対する謝金等） プロトタイピングにかかる委託・外注費

1 ページ

費用支援を希望する費目合計 _____ 0 円

人件費は対象外

応募様式 「様式2 提案書フォーマット」

・ 提案書フォーマット

フォーマットの項目に沿って作成頂く
(最大9枚)

X. その他（参考資料）

4. ビジネスアイデアの実現可能性・希望する費用支援

審査の観点

- ①事業趣旨との合目的性
- ④実現可能性

3. ビジネスアイデアの提供価値・ソリューション

審査の観点

- ②アイデアの革新性
- ④実現可能性

2. 対象とする社会課題

審査の観点

- ①事業趣旨との合目的性
- ③マーケットとの適合性

1. ビジネスアイデアの概要

審査の観点

全体

重点テーマ

<9つの重点テーマ※1から1つを選択して記載してください。>

要旨

<ビジネスアイデアの要旨が一言で分かれるような文言（タイトル）を記載してください。>

社会課題

<ビジネスアイデアの対象とする社会課題の内容について、簡潔にご記載ください>
※<P2で記載する内容を簡潔にまとめてご記載ください>

提供価値

<上記社会課題を解決するためのビジネスアイデアの提供価値について簡潔にご記載ください>
※<P3の上段で記載する内容を簡潔にまとめてご記載ください>

ソリューション

<上記の価値を提供するためのソリューションについてについて簡潔にご記載ください>
※<P3の下段で記載する内容を簡潔にまとめてご記載ください>

アイデア発案の 経緯・動機

<ビジネスアイデアを発案するに至った経緯や動機を記載してください>
<アピールポイントもあれば記載してください>

正結果や根拠となるデータな
・影響も含めて具体的に記

提供し、その結果、その

く、ポイント及び解

、図やイラストを用いて
に記載してください>
(競合企業との違いやセ

対象となる顧客にとって

得る根拠について記載してく

※1 環境・エネルギー、物流・モビリティ、健康・医療、子ども・教育、安心・安全、観光・レジャー、コミュニティ活性化、ビジネスモデル改革、人材確保・育成

※2 企業等（中小企業、スタートアップ、大企業、大学、研究機関等）を指す。（明確化していない場合は業種などでも可）

応募様式 「様式2 提案書記載例」(1/5)

1. ビジネスアイデアの概要		審査の観点	全体
重点テーマ	観光・レジャー		
要旨	多摩織デザインのシェアサイクルを利用した観光サービス		
社会課題	<ul style="list-style-type: none">現代ではデジタル化・DXの進展により、従来のライフスタイルから大きく変化したこと、多摩地域に歴史・魅力のある伝統工芸が存続の危機になっている。多摩地域にも八王子市を中心として江戸時代から続く「多摩織」があるが、現代において認知度が低いまた、多摩地域の過疎化や人口減少、高齢化により二次交通の整備が遅れていることで、訪れる観光客にとっても利便性が悪い。観光地としても地域経済活性化に向けて観光客を増やす対策が求められている	<i>Sample</i>	<ul style="list-style-type: none">P2（社会課題）の内容を簡潔にまとめて記載
提供価値	<ul style="list-style-type: none">伝統工芸の維持とレンタサイクルを活用した地域経済の活性化を両立する観光体験の提供		<ul style="list-style-type: none">P3（提供価値・ソリューション）の内容を簡潔にまとめて記載
ソリューション	<p>多摩織デザインを取り入れたシェアサイクルを利用した、多摩の主要観光スポットや工芸品をめぐる観光ツアーサービス</p> <ul style="list-style-type: none">「多摩織」デザインを取り入れたシェアサイクルを利用した、多摩地域に点在する主要観光スポットの回遊と、「多摩織」の製作体験を組み合わせた観光ツアーを企画・販売する「多摩織」をシェアサイクルのサドルやハンドル等に用いることで、ツアーのコンセプトに合致する特徴的なシェアサイクルを提供する		
アイデア発案の経緯・動機	木曾漆器を用いたロードバイクを見る機会があり、「多摩織」も組み合わせることができないかとの発案に至る。 同時に、製作体験を行なう「多摩織」の生産者から、「交通手段がなく体験に来れない観光客が多い」との話を聞き、シェアサイクルとして「多摩織」をデザインに活かした自転車を用いた観光ツアーを考えるに至る。		<ul style="list-style-type: none">アイデア発案の経緯・動機を記載

※1 環境・エネルギー、物流・モビリティ、健康・医療、子ども・教育、安心・安全、観光・レジャー、コミュニティ活性化、ビジネスモデル改革、人材確保・育成

※あくまで作成例であり、公開情報を基に作成したイメージ

応募様式 「様式2 提案書記載例」(2/5)

2. 対象とする社会課題

審査の観点
①事業趣旨との合目的性
③マーケットとの適合性

- 課題1：歴史ある伝統工芸である多摩織の認知度の存続危機
- 従来のライフスタイルから大きく変化したこと、着物や羽織の需要は低下するとともに、「多摩織」の認知度も低く、存続の危機に陥っている。
 - また、「多摩織」生産事業所の減少や担い手の若返り等の課題があり、文化継承に向けて「多摩織」を活用した新たな製品の検討、PRが必要となっている。

- 課題2：二次交通の不足による観光地としての低い集客性
- 奥多摩地域等の交通空白地帯や駅からの二次交通が不足している。
 - このため、多摩地域を訪れる観光客にとっては、観光地を周遊する際に利便性が悪く、多摩地域への訪問にあたっての障壁となっている。

※詳細については次頁に補足

対象とする社会課題

課題の詳細

アイデアの対象となる顧客（誰に）

- 多摩地域内に気軽に周遊したいが交通手段がない観光客
- 現状は観光地と観光地を結ぶ交通手段が不足しているため、多くの多摩地域への観光客が一つの観光地の往復のみにとどまっている。地域観光を気軽に楽しみたい観光客の観点で十分とは言えない。
- 弊社が実施したヒアリング調査によれば、「駅からの移動手段がない」「免許がないため観光地を周遊する際の時間的な制約が大きい」「個性的な移動手段を確保したい」等の声が聞かれた。

- 二次交通の不足により観光客の呼び込みに課題を抱える伝統工芸品の工房が点在している観光地

現状は伝統参加者は限
地域観光活

参考資料

社会課題に対する補足

- 「多摩織」認知度の低さ
五種類の着物として認定されている着物の中で、京都の「西陣織」以外の認知度はそれほど高くなく、「多摩織」についてはほとんど知られていない。
<伝統織物の認知度>



- 「多摩織」事業所の減少
1970年代には、八王子市を中心に「多摩織」の事業所は約500ヶ所存在していたのにに対し、現在は20ヶ所にまで減少している。
<多摩の織物事業所数>



- 多摩地域の二次交通不足
南多摩エリアでは、最寄り駅までの距離2km以上の世帯割合数は24.4%、奥多摩エリアでは、駅やバス停まで遠く、急峻な地形のエリアが多く、公共交通へのアクセスが不便な地域が存在

3. ※数値や統計は仮定値

Sample

Sample

Sample

- ビジネスアイデアの対象とする社会課題について、根拠となるデータなどを用いて、記載。
- 多摩地域との関連（地域や企業の特徴など）も含めて具体的に記載。

課題を抱えている対象（＝ビジネスアイデアの顧客）

- 上記社会課題に対し、現状どのような対策が取られているか、その対応策がその顧客にとってなぜ不十分か記載。
- 想定する市場の有無、市場の成長性等について記載。
- 裏付けるデータ等は、参考資料としてページを追加。

※あくまで作成例であり、公開情報を基に作成し

応募様式 「様式2 提案書記載例」(3/5)

3. ビジネスアイデアの提供価値・ソリューション

		審査の観点	②アイデアの革新性 ④実現可能性
サービス内容 (何を)	<p>多摩織デザインを取り入れたシェアサイクルを利用した、多摩の主要観光スポットや工芸品をめぐる観光ツアーサービス</p> <p>移動手段が限られ周遊できない観光客に対して、環境や健康に配慮した二次交通手段・ツアーサービスを提供し、気軽に地域を周遊する機会を提供する。また、二次交通不足により観光客の集客に繋がっていない多摩織の工房に対しても、二次交通手段の提供とツアーサー「多摩織」の製作体験を組み込むことで、伝統工芸品への認知度アップに寄与する取り組みとなる。本サービスにより、伝統工芸の維持と周遊による地域経済の活性化を両立することができる。</p>		
サービス内容 (どのように)	<p>【応募者】B社_工房 多摩織のデザイン 多摩織デザイン料 仲介 多摩織デザインの提供 A社_シェアサイクル アプリ開発 ツア企画 ツアー提供 購入 PRサポート PR実施 東京都民や周辺県の住民、インバウンド観光客に向けにサービス展開 C社_工場 シェアサイクルの製造 多摩織をサドルやハンドル等にデザインした自転車 市町村「多摩織」体験施設 モノの流れ 情報の流れ カネの流れ</p>		

※あくまで作成例であり、公開情報を基に作成したイメージ

4

社会課題を解決するために、前頁記載の「課題を抱える対象」に対しどのような価値を提供し、その結果、その対象がどのような恩恵を受けるのかについて記載

- 上記価値を提供するためのソリューションについて、新規性・独自性のポイントがわかるようなイメージ図を記載
- モノ・カネ・情報などの流れについても可能な範囲で記載
- 裏付けるデータ等があれば、参考資料として追加

参考資料

新規性・独自性・比較優位性の確認

観光客の興味を引くユニークな体験の提供
「伝統事業+シェアサイクリング事業+イベント事業」という新しい事業は、従来の観光ツアーより異なるユニークな体験を提供でき、サービスを開始できると考えられる。個人ごとの旅行の自由度が一定程度あることで、現代の多様化した旅行方法に対応し、イベントとしての楽しみも得られる。従来のツアーや単体でのイベント開催には比べて優位性があると考えられる。

シェアサイクルと観光ツアーサービスの連携の開始・提供
多摩織デザインを取り入れたシェアサイクルの観光ツアーサービスを利用することにより専用のアプリを開発・提供する。観光ツアーサービスからシェアサイクルの利用を1つの専用のアプリで可能にすることで、他にはサービスを提供することができます。優位性が期待できると考える。

本モデルの競合会社による優位性・優位性
歴史的な伝統産業として有名な岐阜県、現在は「(応募者)の工芸デザインは他社に真似できない強みがある。数々のオリジナル企画を行っているA社・特注デザインを製造・販売などして、デザインから情報収集・観客への価値提供まで一気通貫のサービス提供を行っている。また、同じように「多摩織」を活用し、移動手段・ツアーサービスセグメント(「多摩織」)を体験を含む多摩地域の周遊観光)が合致する取り組みはあるが、シェアサイクルや観光ツアーサービスに対する知識不足、チーム力をさらに重視している。

Image

応募様式 「様式2 提案書記載例」(4/5)

4. ビジネスアイデアの実現可能性・希望する費用支援

審査の観点

- ①事業趣旨との合目的性
- ④実現可能性

検証フェーズに進むにあたって
解決もしくは、
取り組むべき
内容

<ビジネスアイデア実現に向けた検証フェーズ（P6参照）に進むにあたり、解決もしくは取り組むべき事項について、ポイント及び解決方針について記載してください>
・<検証フェーズに進むためにクリアすべき技術上の課題、課題の対応方針、対応完了見込み時期>
・<検証時の協力先となる実証フィールドの想定や調整状況等>
・<法規制等の考慮すべき阻害要因やリスク、対応方針> 等

希望する
費用支援項目

<費用支援を希望する項目と費用を簡単に記入してください>
※様式3で申請する内容について、まとめてご記載ください

- ビジネスアイデア実現に向けた検証フェーズに進むにあたり、解決すべき事項が残っている場合は、解決すべき事項と対応策について記載
 - 技術上の課題
 - 実証フィールドの確保
 - 法規制上の課題など

応募様式 「様式2 提案書記載例」(5/5)

参考資料

社会課題に対する補足

- 「多摩織」認知度の低さ

伝統工芸品として認定されている織物の中で、京都の「西陣織」以外の認知度はそれほど高くなく、「多摩織」についてはほとんど知られていない。



- 「多摩織」事業所の減少

1970年代には、八王子市を中心に「多摩織」の事業所は約500カ所存在していたのに対し、現在は20カ所にまで減少している



- 多摩地域の二次交通不足

南多摩エリアでは、最寄り駅までの距離2km以上の世帯割合数は24.4%。奥多摩エリアでは、駅やバス停まで遠く、急峻な地形のエリアが多く、公共交通へのアクセスが不便な地域が存在

市場規模・成長性に対する補足

Sample

- 国内・海外観光客数の増加と個別手配の増加

国内旅行者、海外からのインバウンドいずれもコロナ禍からの回復傾向となっている。また、個別手配での観光者数も増加しており、都内外やインバウンド観光客の誘客をはかることで、市場規模の拡大が期待できる

<個別手配をして訪日した人の割合の推移>



- シェアサイクルの利用者数の増加

シェアリング市場自体が近年拡大。シェアリングシステム技術の進歩やインフラ整備の積極的な取り組みが行われているため、シェアサイクルはさらなる市場規模の拡大が期待できる

<ポート設置数の推移>



参考資料

各項目で記載している内容を補足するデータ等があれば、対象ページの次ページに参考資料として追加

最大5枚まで追加可能